

## 資料 5 . 事業事前計画表 (基本設計時)

1. 案件名
ソロモン諸島 ギゾ病院再建計画
2. 要請の背景 (協力の必要性・位置付け)
<p>ソロモン諸島国 (以下、「ソロモン国」) は大洋州に属した大小 1,000 程度から構成される共和制国家の島嶼国であり、1978 年に英国から独立した。国土は 9 つの州と首都のあるホニアラ市からなり、その面積は 2.89 万平方キロメートル (秋田県の約 2 倍)、人口は約 53.4 万人 (2006 年)、1 人あたり GNI (国民総所得) は 680 米ドル (2006 年 世銀) である。</p> <p>ソロモン国においては、妊産婦死亡率が出生十萬対 220 (2005 年)、乳児死亡率が出生千対 54.9 (2006 年) である等、大洋州の他国に比べても、保健指標が劣悪な状況である。また、島嶼国の典型的な特徴として、本島と離島間での基礎保健医療サービスの質、量の格差が存在する。疾病傾向としてはマラリアが主要疾病及び主要死因の一つであり、乳幼児死亡の原因の 8 割を占める。</p> <p>保健セクターは医療従事者の不足、予算措置、施設老朽化等の問題を常に抱えているが、1999 年から 2003 年の部族紛争が予算措置の機能不全、首都ホニアラからの大量難民等、保健医療サービス提供に更に深刻な影響を与えた。医療環境整備に対する予算制約は特に地方部で大きく、早急な対策が必要である。</p> <p>本計画の対象であるギゾ病院は、ソロモン国第二の人口約 72,000 人を有するウェスタン州最大の病院で、ソロモン国で 4 番目の病床数を有し、西部のレファレル病院としてウェスタン州、チョイセル州、イザベラ州の一部の人口を含め約 130,000 人を医療サービスの対象としている。1959 年に建設されて以降増築・修復が小規模に繰り返され、非機能的な空間となっており、必要最低限の活動にも支障を来している。また、人口増加に伴う患者増によるスペース不足に対しては老朽化した施設の増改築では対応困難な状況になり、同病院を隣接地に新築移転する計画をソロモン国政府は策定し、日本の無償資金協力を 2006 年 8 月に要請した。</p> <p>同要請後の 2007 年 4 月 2 日にマグニチュード 8.1 のソロモン諸島西部地震が発生し、津波によりギゾ病院は施設面を中心に大きな被害を受けた。とりわけ、離島の医療に必須である職員住宅が津波に直撃されたことで、職員の業務続行が困難になっただけでなく、被害を免れた一部の医療機材と共に入院患者がホニアラ他の病院へ移送されており、病院機能が大きく損なわれた。津波発生から 1 年 4 ヶ月が経過した 2008 年 8 月時点では、被害後減員となっていた看護師等を戻して増員し、徐々に医療サービス提供体制を復帰させつつあるものの、被災前から抱えていた根本的な問題の解決は引き続き困難であり、本来同病院に要求される第 2 次医療施設の医療サービスを提供できるようにするためには、早急に新築移転を行うことが必要な状況である。</p> <p>本計画は、ソロモン国の第 2 次医療施設であるギゾ病院の移転新築と医療機材の調達を通じ、ギゾ病院の医療サービスの質、量を改善し、同病院に必要とされる適切な保健医療サービスの提供と、地域拠点病院として地域医療と災害時の医療サービス提供拠点を確保することを目的とする。</p>
3. プロジェクト全体計画概要
<p>(1) プロジェクト全体計画の目標</p> <p>ギゾ病院において保健医療サービスが回復・改善される</p> <p>《裨益対象の範囲及び規模について》</p> <p>ソロモン国西部地域における住民約 13 万人</p>

(2) プロジェクト全体計画の成果

ギゾ病院の施設・機材が整備・調達される

ギゾ病院の運営体制が整備される

(3) プロジェクト全体計画の主要活動

ア 施設を整備する

イ 機材を調達する

ウ 技術指導（施設・機材維持管理、排水処理システム、医療廃棄物収集・処理システム等）を実施する

エ 上記施設・設備を使用して医療活動を実施する

(4) 投入（インプット）

ア 日本側(=本案件)：無償資金協力 \_\_\_\_\_

イ 相手国側

（ア）本無償資金協力案件の実施に係わる負担額

（イ）本無償資金協力案件対象施設の改修後の維持管理経費

(5) 実施体制

主管官庁及び実施機関：ソロモン国保健・医療サービス省

4. 無償資金協力案件の内容

(1) サイト

ソロモン諸島国ウエスタン州ギゾ市

(2) 概要

ギゾ病院の新設（外来部門、放射線部門、検査部門、事務・管理部門、サービス部門、手術部門、中央器材供給部門、分娩部門、病棟部門、排水処理プラント（浄化槽機械室）、非常用発電機設備、受水槽設備）

上記施設及び既存施設に対する関連機材の調達

ギゾ病院を対象とした維持管理システム、排水処理システム、医療廃棄物収集・処理システム等に関する技術指導

(3) 相手国側負担事項

本計画の施設着工前の関連工事

- 協力対象敷地内の既存施設の撤去（旗竿6箇所、バスケットコート等）
- 協力対象敷地内の雨水排水路の改善
- 協力対象敷地内の造成・整地
- 既存マラリアオフィスの撤去と既存病院への機能移転
- 工事用の仮設用地の整地
- 職員住宅の整備（6ブロック）

本計画の施設工事中の関連工事

- ギゾ市電力供給システム改善計画の実施
- ギゾ市給水システム改善計画の実施
- 排水システム改善計画の実施
- 前面道路の舗装と排水溝の設置
- 協力対象施設までの電気、電話、給水インフラの引き込み

本計画の施設完成後の関連事項

- 新規家具の購入
- 既存 X 線関連機材の移設
- 既存家具及び機材の移設
- 医療スタッフの訓練及び患者の移送
- 協力対象敷地廻りの塀、柵の設置

(4) 概算事業費

概算事業費：

(5) 工期

詳細設計・入札期間を含め約 18 ヶ月（予定）

(6) 貧困、ジェンダー、環境及び社会面の配慮

感染系等の特殊排水は滅菌処理を行う。

医療廃棄物は一般ごみと分別し、ごみ焼却炉にて適切な処理を行う。

5. 外部要因リスク

ソロモン国内の政情・治安が悪化しない。

6. 過去の類似案件からの教訓の活用

特になし

7. プロジェクト全体計画の事後評価に係る提案

(1) プロジェクト全体計画の目標達成を示す成果指標

項目	2006（災害前）	2007（4月・10月災害後）		2013(完了2年経過後)
外来患者数	2,312/月	1,083/月	975/月	回復・増加する
入院患者数	151/月	14/月	100/月	回復・増加する
手術件数	74 件/月	0 件/月	21 件/月	回復・増加する
分娩数	49 件/月	17 件/月	30 件/月	回復・増加する

(2) その他の成果指標

特になし

(3) 評価のタイミング

施設完工および機材据付完了から 2 年経過後（2013 年）